

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010190

政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	B		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	へき地小学校教員住宅水洗化改修事業					
事業期間	平成25年度～平成26年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	整備が必要な戸数					
事業目標	14戸		見直し年度	12	教育委員会教育振興課	
住民参加	無		関係課	11	町有施設整備室	
住民協働	無		関係個別計画名	無	#N/A	
			ハード/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
			関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	へき地小学校教員住宅の水洗化改修 (H25～6棟9戸 H26～2棟5戸)	幌内校長住宅 1戸 豊丘教員住宅 4戸 共栄教員住宅 2戸 幌内教員住宅 2戸	沢木教員住宅 4戸 共栄教員住宅 1戸			
	事業費(千円)	28,800	18,000	10,800	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	28,800	18,000	10,800			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	17,504	17,504	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	17,504	17,504				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		幌内校長住宅 1戸 豊丘教員住宅 4戸 共栄教員住宅 2戸 幌内教員住宅 2戸			
			※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	9戸	5戸		
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	97%	0%	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	61%	61%	61%	61%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名	へき地小学校教員住宅水洗化改修事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課	課長 石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係	係長 武藤知憲

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	教職員住宅施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	水洗化工事戸数
【抱える課題やニーズは】	住環境及び環境衛生の改善として、下水道整備区域外の教職員住宅の水洗化整備が求められている。	指標(指標計算式/解説)	目標年度 実績年度 実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	トイレを水洗化することにより、衛生面等の住環境の改善を図る。	① 水洗化工事戸数	平成25年度 9戸 9戸
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	今後も継続して住宅を利用できる改修を実施し、住環境の改善を図る。		達成度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	状況把握	②	平成25年度
	工事施工		目標年度 目標値 実績値
			達成度
	工事担当課との現状確認により、緊急性及び必要性を考慮し、翌年度の工事施工箇所及び工法について確認しています。		
	住環境を改善するため、合併処理浄化槽を設置し、便器便器の取替えに伴う便所内改修を行っています。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	下水道整備区域外であるへき地の教職員住宅は、一部を除き汲み取り式であるため、水洗化による衛生面の環境整備を段階的に行う必要があると判断します。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	住環境を整備することにより、環境衛生の改善が図られるため、事業を実施するにあたって有効であると判断します。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	前年度調査に基づき、3年間での施工箇所の選定を行い、計画的に工事施工を予定しているため、事業費の抑制につながっていると判断します。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

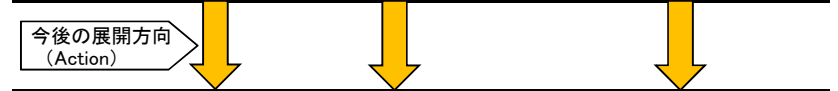
公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	水洗化未整備である教職員住宅についても計画的な改修を行うため、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
水洗化工事を施工することにより、衛生面の環境整備の充実が推進されており、計画どおり事業が進んでいます。		



継続/現状維持		
水洗化工事を必要とする未改修教職員住宅があるため、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止